

「北海道文学館」創立50周年記念特別展
北海道150年事業

有島武郎と 未完の『星座』

明治期北海道の青春群像



《ちまも人形・有島武郎》
制作：高山美香

2018年2月3日(土)～3月25日(日)

- 開館時間／9:30～17:00（入場は16:30まで）
- 休館日／月曜日、2月13日(火) *ただし2月12日(月)は開館。
- 観覧料／一般700(560)円、高大生450(360)円、小中生300(240)円、65歳以上の方450(360)円
*()内は10名以上の団体料金

主催／北海道立文学館、公益財団法人北海道文学館（北海道立文学館指定管理者）、北海道新聞社

後援／北海道、札幌市、札幌市教育委員会

協力／有島武郎・木田金次郎プロジェクト実行委員会、木田金次郎美術館、札幌芸術の森美術館、札幌市時計台、新潮社、日本近代文学館、北海道開拓の村、北海道大学、北海道大学大学文書館、北海道立近代美術館

中島公園内 北海道立文学館 特別展示室

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-4
交通案内：地下鉄南北線「中島公園駅」(出口③)または「幌平橋駅」(出口①)から徒歩6分 市電「中島公園通」から徒歩10分 JRバス・中央バス「中島公園入口」から徒歩4分
お問い合わせ：公益財団法人北海道文学館 tel. 011-511-7655 fax. 011-511-3266 <http://www.hbungaku.or.jp/> 施設設置者：北海道教育委員会 指定管理者：公益財団法人北海道文学館



有島武郎と未完の『星座』 — 明治期北海道の青春群像

有島武郎(1878~1923年)は、北海道に生きる人々を鮮烈に描き出した傑作『カインの末裔』『生れ出づる悩み』や自我に目覚めた女性をテーマにした代表作『或る女』など、数々の名作を生んだ小説家です。

本展では有島武郎の生涯とその主な作品を書簡・日記・絵画・遺品などで迎るとともに、札幌農学校(現・北海道大学)の学生時代をモデルにして描かれた小説『星座』(1922年)の世界を紹介します。この作品では、明治32(1899)年頃の札幌を舞台に、貧苦、病、思想、学問、恋愛、性など様々な悩みを抱えながら生きる個性豊かな若者たちの青春群像が多視点に描かれます。有島は新たな決意と共にこの小説を書きはじめました。ほどなくして45歳の若さで自ら命を絶ち、作品も未完のままで終わりました。有島がこの作品に託した思いに迫ります。

会場には、昨年新たに発見された有島の自筆原稿『星座』をはじめとする貴重な文学資料に加え、造形作家・高山美香氏による《ちまみ人形・有島武郎》、漫画家・瀧波ユカリ氏による『星座』主要登場人物の等身大イラストパネルが登場します。また会期中、多彩なイベントを行います。有島文学に触れる、または読み直すきっかけにさせていただけますと幸いです。



有島武郎 明治44(1911)年
母校の教授を務めた33歳の頃。



『星座』のモデルになった札幌農学校19期生たち 明治30(1897)年
前列右から4人目・有島武郎。北海道大学文学書館所蔵



『真駒内ニ至ルノ途上ツキサップ兵營望見』明治30(1897)年2月14日
農学校の修学旅行で千歳へ行き、鮭の孵化場やアイヌの居住地を訪れたことなどを
詳細に記している。

会期中のイベント

*⑩以外すべて会場は当館講堂、入場無料。

①オープニング文芸講演会

「有島武郎と出版—新潮社からの新発見資料・原稿『星座』にふれて」

日時 2月3日(土) 14:00~15:00

講師=中島国彦(日本近代文学館専務理事、早稲田大学名誉教授)

要申込・電話にて1月16日(火)9:00より受付。(定員80名)

②朗読会「高校生が読む有島武郎の名作」

第1回 2月4日(日)『生れ出づる悩み』

第2回 3月17日(土)『星座』

朗読=札幌旭丘・札幌静修・札幌日本大学高等学校放送局

協力=北海道高等学校文化連盟放送専門部石狩支部

各日同プログラムを11:00~12:00、14:00~15:00の2回開催。申込不要・先着60名。

③読書会「有島武郎を読む」

第1回 2月6日(火)『カインの末裔』 講師=工藤正廣(当財団理事長、北海道大学名誉教授)

第2回 3月6日(火)『一房の葡萄』 講師=久保田知恵子(鎌女子大学非常勤講師)

第3回 3月14日(水)『星座』 講師=吉成香織(当館学芸員)

各回とも14:00~15:30 要申込・電話にて1月16日(火)9:00より受付。1回ずつの受講可能、各回定員20名。

④講座「有島武郎を知る」

第1回 2月9日(金)「有島武郎と俳優・森雅之」

講師=中澤千磨夫(北海道武蔵女子短期大学教授)

第2回 2月27日(火)「アリシマ降臨<霊と肉>のハザマで—札幌農学校でのアリシマ人脈を再考」

講師=柴橋伴夫(詩人・美術評論家)

第3回 3月13日(火)「木田金次郎の交流圏—有島武郎と橋浦泰雄をめぐって(仮)」

講師=岡部卓(木田金次郎美術館学芸員)

第4回 3月20日(火)「『星座』の街・札幌を歩く」

講師=谷口孝男(当館副館長)

各回とも14:00~15:00 要申込・電話にて1月16日(火)9:00より受付。1回ずつの受講可能、各回定員30名。

⑤文芸講演会「(学問)する青年と女性たち—有島武郎『星座』精読—」

日時 2月10日(土) 14:00~15:30

講師=中村三春(北海道大学大学院教授)

要申込・往復はがきで1月27日(土)まで。(定員80名)

〈往復はがきでの申込方法〉「往復はがき」にイベント名・開催日時・応募者の住所・氏名・電話番号を記入して締切日(当日消印有効)までに応募ください。1枚のはがきで2名まで申込可(その際は同伴者の氏名を記入)。定員を超えた場合は抽選し、当落を返信でお知らせします。1つのイベントにつき、1枚のはがきをご使用ください。

常設展のご案内／北海道の文学(通年開催)

北の大地の厳しくも豊かな風土に育まれてきた北海道の文学。自筆資料や初版本など貴重な資料をご覧いただけます。小コーナー「常設展アーカイブ」(~3/18)では、『大正ロマンのイメージ』を紹介。

観覧料:一般500(400)円、高大生250(200)円

()内は10名以上の団体料金 65歳以上、中学生以下無料 高校生は土曜日無料

※お得な特別展・常設展共通チケット960円もあります。詳細はお問い合わせください。

●次回特別展のご案内

「没後50年 子母澤寛 無頼三代 蝦夷の夢」

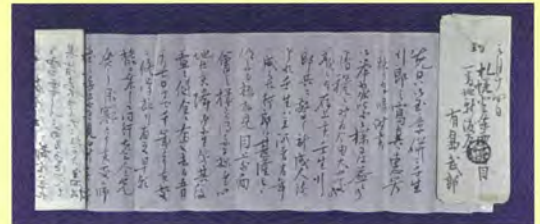
4月21日(土)~6月24日(日) 予定

観覧料:一般700(560)円、高大生450(360)円、小中生300(240)円、65歳以上の方450(360)円。

※()内は10名以上の団体料金



有島武郎日記『親想録』第1巻
明治30~31(1897~98)年 日本近代文学館所蔵



母・幸子宛書簡 明治33(1900)年3月14日
農学校の修学旅行で千歳へ行き、鮭の孵化場やアイヌの居住地を訪れたことなどを
詳細に記している。

⑥森雅之ミニ映画祭

有島武郎の長男で、俳優の森雅之の出演の文芸作品をDVD上映します。

A 2月11日(日) 白痴(松竹大船/黒澤明監督/1951年/181分)

B 2月16日(金) 安城家の舞踏会(松竹大船/吉村公三郎監督/1947年/89分)

C 3月2日(金) 雨月物語(大映京都/溝口健二監督/1953年/96分)

D 3月9日(金) 蟹工船(現代プロ/山村聰監督/1953年/112分)

各回とも13:30~、すべてDVD上映。プログラムA(映像作品鑑賞のついで)のみ要申込・往復はがきで1月27日(土)まで。(定員80名) プログラムB・C・Dは申込不要・先着80名。

⑦対談「有島武郎と北大恵迪寮」

日時 2月18日(日) 14:00~15:00

講師=神谷忠孝(当財団顧問、北海道大学名誉教授)、藤田正一(北海道大学名誉教授)

要申込・電話にて1月23日(火)9:00より受付。(定員80名)

⑧有島武郎でビブリオバトル

有島武郎の本をバトラー(発表者)が紹介。ギャラリーは一冊読みたい本に投票します。

日時 2月25日(日) 14:00~15:00 定員バトラー4名・ギャラリー60名 協力:札幌ビブリア

要申込・電話にて1月23日(火)9:00より受付。バトラーはメール(bungaku@h-bungaku.or.jp)でも受付。

⑨私劇「カインの末裔に寄る」

日時 3月4日(日) 14:00~15:00

原作:有島武郎 翻案・演出・出演=柴田智之(身体表現)

音楽=瀬尾高志(contrabass)、レオナ(tap) 照明=批本享洋(劇団ドラマシアターども)

要申込・2月16日(金)より地下1階受付にて、整理券を配布。(定員80名)

⑩北海道開拓の村・有島ゆかりのスポットをめぐるミニツアー

北海道開拓の村に現地集合し、白官舎、有島家住宅、恵迪寮を見学。当館学芸員も同行。

日時 3月11日(日) 11:00~12:00

講師=前川公美夫(当財団理事)、細川健裕(北海道開拓の村学芸員)

要申込・電話で2月16日(金)9:00より受付・定員20名。要開拓の村入場料金。

北海道立文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-4

地下鉄南北線「中島公園駅」(出口③)または

「幌平橋駅」(出口①)から徒歩6分

市電「中島公園通」から徒歩10分

JRバス・中央バス「中島公園入口」から徒歩4分

【お問い合わせ】公益財団法人北海道文学館

TEL:011-511-7655 FAX:011-511-3266

http://www.h-bungaku.or.jp/

施設設置者:北海道教育委員会

指定管理者:公益財団法人北海道文学館

